

DA  
3241  
2002  
HG

博士論文

慢性期脳血管疾患片麻痺者のための  
QoL 回復支援システムの提案

平成 14 年度

筑波大学大学院 体育科学研究科

坂井智明

寄贈  
坂井智明氏

03006692

—目次—

第1章 序論		
第1節 用語の定義	・ ・ ・ ・ ・	1
第2節 研究の背景	・ ・ ・ ・ ・	11
第3節 研究課題	・ ・ ・ ・ ・	21
第4節 研究の意義	・ ・ ・ ・ ・	25
第5節 研究の限界	・ ・ ・ ・ ・	25
第2章 文献研究		
第1節 脳機能の回復メカニズム	・ ・ ・ ・ ・	28
第2節 慢性期片麻痺者に対する身体活動能力の測定	・ ・ ・ ・ ・	29
第3節 慢性期片麻痺者の特徴	・ ・ ・ ・ ・	31
第4節 慢性期片麻痺者のための運動介入	・ ・ ・ ・ ・	33
第5節 慢性期片麻痺者のための QoL 調査	・ ・ ・ ・ ・	38
第3章 慢性期片麻痺者に適した身体活動能力測定法の提案	・ ・ ・ ・ ・	39
—横移動と半身体前屈について—	(研究課題1)	
第1節 緒言		
第2節 方法		
第3節 結果		
第4節 考察		
第5節 まとめ		
第4章 慢性期片麻痺者の身体活動能力の把握	(研究課題2) ・ ・ ・ ・ ・	54
第1節 緒言		
第2節 方法		
第3節 結果		
第4節 考察		
第5節 まとめ		

第5章 地域保健施設における運動実践の効果 (研究課題3) . . . . .	72
第1節 緒言	
第2節 方法	
第3節 結果	
第4節 考察	
第5節 まとめ	
第6章 自宅における運動実践の効果 (研究課題4) . . . . .	92
第1節 緒言	
第2節 方法	
第3節 結果	
第4節 考察	
第5節 まとめ	
第7章 総合討論	
地域リハビリテーションとしてのQoL回復支援システム . . . . .	112
第8章 総括	
第1節 本研究で得られた知見 . . . . .	122
第2節 今後の研究課題 . . . . .	123
謝辞 . . . . .	126
引用文献 . . . . .	127
付録1 身体活動能力の測定項目およびその方法 . . . . .	150
付録2 SF-36質問票 . . . . .	153
付録3 運動プログラムに参加した片麻痺者と家族、介護者の感想 . . . . .	157
関連論文 . . . . .	159

## 図表，写真リスト

図 1-1 脳血管疾患の分類	.....	2
図 1-2 総合的 QoL の構造モデル	.....	4
図 1-3 総合的リハビリテーションの流れ	.....	9
図 1-4 運動処方の流れ	.....	12
図 1-5 慢性期片麻痺者に対する QoL 回復支援システムの流れ	.....	12
表 1-1 先行研究で用いられている身体活動能力測定項目の分類	.....	16
図 1-6 寝たきりへのプロセス	.....	17
図 1-7 研究課題一覧	.....	22
表 1-2 障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準	.....	26
表 3-1 対象者の身体的特徴	.....	42
表 3-2 一般中高齢者における敏捷性測定の結果	.....	43
表 3-3 片麻痺者における横移動測定の結果	.....	45
表 3-4 一般中高齢者における柔軟性測定の結果	.....	46
表 3-5 片麻痺者における半身体前屈測定の結果	.....	47
表 4-1 Brunnstrom recovery stage 別身体的特徴	.....	57
表 4-2 対象者の身体的特徴	.....	59
表 4-3 測定項目の信頼性	.....	60
表 4-4 男性片麻痺者の身体活動能力	.....	61
表 4-5 女性片麻痺者の身体活動能力	.....	62
表 4-6 一般中高齢者の身体活動能力	.....	63
表 4-7 身体活動能力と Brunnstrom recovery stage, 年齢, 罹病期間の関係	.....	65

図 4-1 片麻痺者と一般中高齢者の身体活動能力の比較（非移動項目）	66
図 4-2 片麻痺者と一般中高齢者の身体活動能力の比較（移動項目）	67
写真 5-1 運動指導風景（筋力トレーニング）	76
写真 5-2 運動指導風景（歩行トレーニング）	77
表 5-1 対象者の身体的特徴	80
表 5-2 身体活動能力の変化	81
図 5-1 握力（非麻痺側）の変化率	83
図 5-2 脚筋力（非麻痺側）の変化率	83
図 5-3 アップ&ゴーの変化率	84
図 5-4 連続立ち上がりの変化率	84
図 5-5 総合的な身体活動能力の変化	85
表 5-3 Short Form-36 の変化	85
表 6-1 対象者の身体的特徴	98
表 6-2 身体活動能力の変化	99
図 6-1 握力（非麻痺側）の変化率	101
図 6-2 脚筋力（非麻痺側）の変化率	101
図 6-3 アップ&ゴーの変化率	102
図 6-4 総合的な身体活動能力の変化	102
表 6-3 Short Form-36 の変化	103
表 6-4 運動実践期間における身体活動能力変化量の比較	104
表 6-5 運動実践期間における Short Form-36 変化量の比較	105
表 6-6 身体活動能力と Short Form-36 の関係	105
図 7-1 本研究の知見で得られた QoL 回復支援システム	115

表 7-1 WHO による健康体力の傾き	.....	116
図 7-2 退院後の身体活動能力と寝たきり期間遅延に関する概念図	.....	120
図 7-3 地域リハビリテーションシステム	.....	121